郡山市立小原田中学校
学校だより
No.30

手をたずさえて

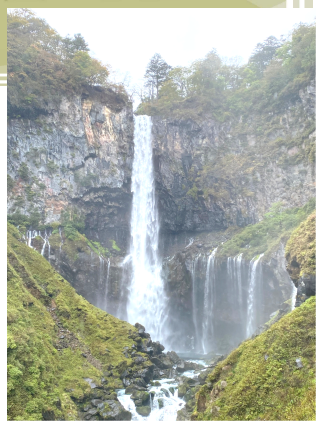
“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒

令和３年１０月２０日（水）発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長　熊 坂　　洋

“仲間と過ごした特別な時間”として大切な思い出に…

3年修学旅行　栃木県日光・茂木・那須方面　10/13(水)・14(木)



１０月１３日（水）・１４日（木）には３年修学旅行が実施されました。当初は４月に２泊３日の旅行が予定されていました。その後コロナの感染状況が改善されなかったため、９月の栃木方面の実施に変更、さらに２泊３日を１泊２日に縮小することになりました。１０月になるとコロナの感染状況が減少傾向に転じ、「まん延防止等重点措置」も解除され、実施の運びとなりました。昨年度同様、規模が縮小された旅行でしたが、その分密度の濃い特別な１泊２日となりました。

１日目は、雨が降ったり止んだりの天候でした。クラス別研修で、１組は、午前はモビリティテーマパーク「ツインリンクもてぎ」で、高低差約２０ｍを一気にすべる“メガシップラインつばさ”や国内最大級のネットアスレチック“巨大ネットの森ＳＵＭＩＫＡ”などを体験しました。午後は２組と合流し、「那須どうぶつ王国」では様々な動物と触れ合い、「とりっくあーとぴあ」では不思議な絵の世界を体験しました。

２組の午前は「華厳の滝」と「中禅寺湖遊覧」でした。どしゃ降りの雨の日光、霧の中のいろは坂をのぼり、華厳の滝に着いたときには小雨程度となり、大量の水が一気に落下する華厳の滝の雄大な姿が目に飛び込んできました。その後、約１時間の中禅寺湖の遊覧でも雨は降ってましたが、湖岸の山並みなどの景色は見ることができました。ちなみに遊覧船を降り、豪華な昼食をとっている頃にはあたり一面は霧で真っ白でした。

３組は「鬼怒川ライン下り」に挑戦しました。川が増水したり雨が激しかったりした場合は別の行き先も検討しましたが、実施できるとのことでゴーサインが出されました。紅葉の時期にはまだ早かったのが残念でしたが、生徒達は川下りを満喫することができました。午後は、１組が行った「ツインリンクもてぎ」でのアクティビティーを体験しました。夕方には雨も止み、太陽が顔を覗かせました。１日目は雨が降ったり止んだりする中での活動でしたが、景色を堪能したり、活動を十分に楽しんだりすることができました。

今回１・３組が行った「ツインリンクもてぎ」は、今までの修学旅行の行き先ではあまりなかったアスレチックやアクティビティーなどの体験型の大型施設でした。１年の学習旅行の「空中アスレチィク NOZARU」も併せて、コロナ渦の中、十分な外出ができなかった生徒達にはもってこいの行き先でした。このような体験型の要素を導入する修学旅行や学習旅行が今後増えていくのではないかと予想されます。

宿泊地は那須御用邸（皇族の別荘地）に隣接するホテルラフォーレ那須でした。感染症対策として、食事は対面ではなく同じ方向を見ての座席でした。夕食、朝食ともに豊富なメニューでおいしくいただくことができました。こちらが心配するほど、何杯もご飯をおかわりする生徒もいました。

ホテル玄関 ハロウィンの飾り

２日目は朝から晴天となりました。「那須ハイランドパーク」では、９時半から１５時までの５時間半を、たくさんのアトラクション、食事、買い物などで大いに楽しむことができました。集合時間に遅れる生徒は一人もなく帰路につきました。そして、無事郡山に帰ってきました。

中学校の修学旅行は、卒業式や文化祭に並ぶ学校最大級の学校行事のひとつです。大人になっても、その記憶が大切な思い出となっている人もたくさんいます。コロナ渦の中だからこそ、学校ならではの学びを大切にして修学旅行を実現させ、生徒の思い出づくりに繋げたいと考えていました。規模縮小による実施でしたが、ある生徒が実感を込めて「修学旅行って本当に楽しいです！」と言っていました。また、２号車のバスガイドさんは実は昨年度も本校の修学旅行に同行しており、２年続けて小原田中生と接して感じたことをこう言っていました。「本当に素直でいい生徒さん達です。このまま真っ直ぐ成長してください！」…とても有り難い言葉でした。この２日間は、生徒達の心の中に“仲間と共に過ごした特別な時間”そして思い出として温められていくことでしょう。

秋色の那須を満喫することができました！

２名の修学旅行を終えての感想です。ともに今回お世話になった方々への感謝の気持ちが表現されています。

修学旅行を実施すると聞いて、嬉しい反面とても不安でした。しかし、実際に行ってみると、最初に感じていた不安は消え、とても楽しい修学旅行になりました。カメラを見返すと、２日間の思い出がまるで昨日の出来事のように思い出されます。また、受験勉強や文化祭の練習が大詰めにさしかかり、心身の疲れがたまっていた僕たち３年生にとって、良い息抜きになったと思います。何より思うことは、今年の修学旅行が内容が変わったとはいえ、無事に実施できたことに対して、とても嬉しく思っています。そして、コロナ渦という先の見えない状況の中で、僕たちのために調整やサポートをしてくださった旅行業者の皆さん、ホテルのスタッフの皆さん、校長先生をはじめこの修学旅行に同行してくださった先生方、そして、快く送り出してくれた保護者の方々に本当に感謝しています。たくさんの思い出ができました。(3-1 天野　貞)

10月13、14日に修学旅行がありました。３年生になったときから、ずっと楽しみにしていた行事だったので、実施することが決まったときには、とても嬉しかったです。ただ一つ心配なのは天候でしたが、１日目もそれほどひどい雨というわけではなく、外での見学も無事行うことができました。２日目は文句なしの晴天で、気持ちも明るくなりました。クラス別研修で、２組はたくさんの場所に行きました。私が一番印象に残っているのは「華厳の滝」です。写真で見るのとはやはり全然違って本物の迫力はすごかったです。滝の高さや水の勢い、音など、自然の力強さを感じることができました。２日目の那須ハイランドパークでは、時間の許す限りとにかく遊びました。クラスの枠をこえて自由に班を組んだので、普段あまり話せない友達と久しぶりに一緒に過ごせて、とても楽しかったです。一泊だけでしたが、ホテルでの生活も思い出になりました。２日間で本当にたくさんの楽しい思い出ができました。この旅行の計画から実施まで関わってくださった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。家にもどってから両親に修学旅行のことを話したら、とても喜んでくれました。これからも感謝の気持ちを忘れず生活していきたいです。(3-2 宗像希未)